

災害時の避難に関する専門調査会 津波防災に関するワーキンググループについて

平成22年2月に発生したチリ中部沿岸を震源とする地震による津波では、17年ぶりに津波警報(大津波)が発表され、津波ハザードマップや避難指示・勧告発令等のあり方、津波防災に関する知識のさらなる啓発の必要性、遠地津波への対応等の課題が明らかになった。

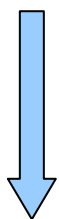
本ワーキンググループは、現状の津波対策を再整理して課題や問題点を明らかにし、近地津波と遠地津波それぞれの特性を踏まえた改善策を検討し、より強化すべき対策や支援方策についてとりまとめる。

【検討事項(案)】

- (1) 津波避難の適切な実施に必要な対策のあり方
 - ・津波警報等、津波ハザードマップ、避難指示等のあり方
 - ・情報伝達のあり方
 - ・避難路、避難先、避難所、避難誘導のあり方 など
- (2) 遠地津波を想定した津波対策
 - ・猶予時間を効果的に活用した津波対策の検討
 - ・津波警報発表や事前情報発表のタイミング・内容等の検討 など
- (3) 津波に関する知識の普及啓発、学校防災教育、避難訓練等のあり方
 - ・学校等における津波防災教育のあり方
 - ・津波避難訓練のあり方 など
- (4) 漂流物の発生防止対策等

【検討スケジュール(案)】 (2ヶ月に1回程度の開催を予定)

平成22年 第1回開催



- ・これまでの津波被害、現在の津波対策の整理
- ・遠地津波を想定した津波対策の検討
- ・津波避難の適切な実施に必要な対策のあり方の検討
- ・漂流物の発生防止対策等の検討

平成24年春頃 報告取りまとめ